

## ロシア為替週報

2021年6月21日 | みずほ銀行欧州資金部

## ＜過去1週間の動き＞

(6月12日～6月18日)

USD/RUB: 71.630～72.810

過去1週間のロシア・ルーブル相場は、若干の上下動を見せる局面もあったものの、振り返ってみると軟調気味の小動きに終わり、対ドルで小幅水準を切り下げた。週明け14日は、ロシア市場休日でほぼ動かず。市場の関心は、16日に予定された米ロ首脳会談に集まっていたが、注目が高かったからと言って、具体的に何が期待されていたわけでもなかった。予想通り、会談の内容は不透明な部分が多く、共同会見も開かれなかったが、両国首脳が実際に会って話し合い、今後も対話を続ける姿勢を明確にしたことや、そのために駐ロ/駐米大使をそれぞれ復帰させることで合意したことなどは前向きに評価できたはず。同日のルーブル上昇は、こうした点を好感した値動きと言えただろう。しかし、程なくルーブルは天井を打って反落。この値動きは、ルーブル安と言うより、米連銀公開市場委員会の結果を受けたドル全面高の一環だった(対ユーロでは、ルーブルは週引けまでほぼ一貫した堅調推移を維持していた)。政策金利(FF金利誘導目標)は据え置かれ、パウエル議長が特段鷹派的な発言をしたわけでもなかったが、同理事の先行き政策金利見通しの中央値が、23年末までに50b.p.(25b.p.×2回)の利上げを予想していた(従来は金利据え置きを予想)点などが米10年物国債利回り上昇などを伴い、ドル全面高を誘った。

## ＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
6/15	16:00	GDP(前年比)	Q1 P	-0.7%	-1.0%	-1.8%

(\*予想はブルームバーグ社予想中心値)

## ＜向こう5週間の見通し＞

(6月19日～7月23日)

USD/RUB: 71.50～74.00

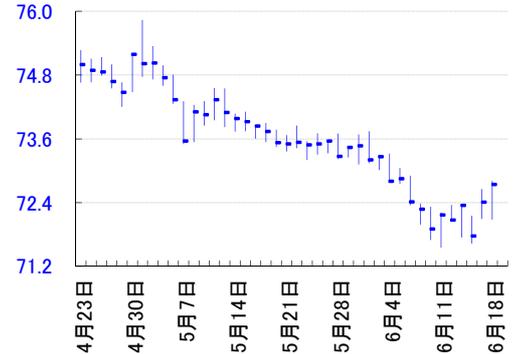
向こう5週間のロシア・ルーブル相場は、方向感を欠いた膠着を予想。敢えて選ぶなら軟調推移を見込む。米ロ首脳会談が具体的な成果を生み出さない可能性は広く予想されてきており、その上で市場は、ルーブルを買い上げてきたわけだが、同会談開催が本格的に実現性を帯びたのは、ロシアからの観測報道が聞かれた5月18日前後で、当時、ドル/ルーブルは73台後半にあった。同会談が、予想通り、無難だが成果を挙げないまま終わって、ルーブルも一旦元の水準までリセットされる可能性は考えられるだろう。こどもと、原油価格とルーブルの値動きに時差が目立つのも気掛かりのひとつ。原油堅調が、引き続きルーブル押し上げ要因であるのは、大局的に変わらないが、原油が昨年3月以前の水準を完全に回復し、新値を切り上げているのに対し、ルーブル反発が遠く及ばないのも、足下ルーブルの地合の悪さを物語っているように思われる。他にも、拘束中のナワリヌイ氏の健康状態、ベラルーシ情勢、サイバーテロ関連など、制裁回避=ルーブルの安定を見込む上で気に掛ければならない点は数多い。注目材料として、ウクライナのゼレンスキー大統領が、来月、バイデン大統領の招待に応じて訪米すること(注)も挙げられる。ウクライナのNATO加盟は、ロシアにとって絶対回避の懸念事項のはずだが、この会談(の内容)がロシアを刺激することになれば、ロシアからの対抗措置、米制裁といった泥試合が再燃する可能性も警戒される。

## ＜向こう5週間に発表予定の主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
6/23	16:00	鉱工業生産(前年比)	5月		+10.5%	+7.2%
6/30	13:00	経常収支(USD)	Q1 F		+16800mIn	+6141mIn
	16:00	失業率	5月			5.2%
	16:00	小売売上高(前年比)	5月			+34.7%
	16:00	実質賃金(前年比)	4月			+1.8%
7/2	16:00	GDP(前年比)	Q1 F		-0.7%	-1.8%
7/5-7/9		国民福祉基金(USD)	6月			189.4bn
7/7	16:00	CPI(前年比)	6月			+6.0%
7/9	8:00	経常収支(USD)	Q2 P			
7/12	13:00	貿易収支(USD)	5月			+10.6bn
7/12-7/15		財政収支(RUB/年初来)	6月			+312.1bn
7/22	16:00	鉱工業生産(前年比)	6月			
7/23	10:30	1週間物入札金利				5.50%

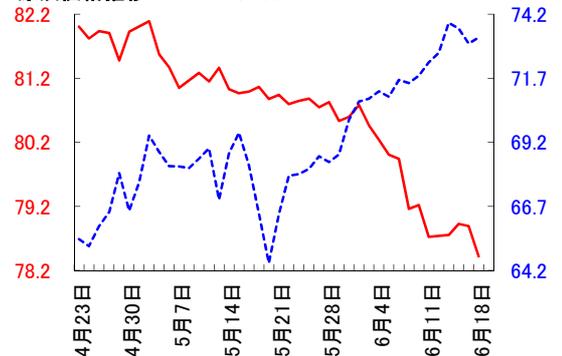
(\*予想はブルームバーグ社予想中心値)

## USD/RUBの推移(日足/ロンドン7:00～17:00)

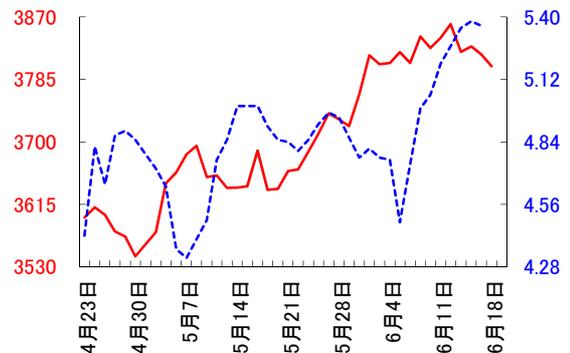


## 株ルーブル/バスケット推移(ロシア中銀公示)

## 原油価格推移(ブレント直物)



## 株式/金利相場の推移(MOEX指数/当翌物金利)



(資料: ロシア中銀/ロイター/ブルームバーグ)

## ロシア関係主要経済指標

1週間物入札金利		5.50%
成長率(GDP/前年比)	Q1	-0.7%
失業率	4月	5.2%
消費者物価(前年比)	5月	+6.0%
小売売上高(前年比)	4月	+34.7%
鉱工業生産(前年比)	4月	+7.2%
貿易収支(USD)	4月	+10.6bn

## ＜お知らせ＞

筆者休暇のため次回の「ロシア為替週報」は7月26日の発行を予定しております。ご迷惑をお掛けし大変申し訳ありませんが、よろしくご諒承ください。

(注) 詳しい日付までは現時点で確定していない模様

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。